

## 貸間あり (1959)

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ

製作国 日本

色彩 B&amp;W

時間 112分

初公開日 1959/06/02

公開情報 東宝

## 【解説】

井伏鱒二の同名小説を原作に、「洲崎パラダイス 赤信号」「幕末太陽傳」の川島雄三監督が大阪の風変わりなアパート屋敷に住むバイタリティにあふれた個性豊かな住人たちの悲喜劇を描いた群像ドラマ。アパートの2階に住む与田五郎は4ヵ国語に堪能で、小説、論文、翻訳などの代作を中心によろず引き受け業を営んでいた。そこへ、学生の江藤が受験の身代わりを申し込んできた。ついでに、1つ空いているアパートの空き室を借りようとするが、そこは一足先に陶芸一筋の三十娘、ユミ子が借りることに……。

川島監督と共に脚本を担当した藤本義一自ら“重喜劇”と称した本作は、繰り出されるギャグの数々はあまり笑いに結びつかないが、監督の座右の銘ともいえるべき“花に嵐の喩えもあるさ、サヨナラだけが人生さ”が劇中でも使用されているように、残り短い命を悟った監督の死生観とでもいえるべきものが通底していて、深く鋭い人間洞察に溢れた作品に仕上がっている。監督の分身ともいえるフランキー堺演じる五郎が、愛する女性に追われながら、なぜかどこまでも逃げ続ける姿が、まるで将来というのを確かなものとして受け入れることのできない男の覚悟と見えなんとも痛ましい。

## 【クレジット】

監督 川島雄三

製作 滝村和男

原作 井伏鱒二

脚本 川島雄三

藤本義一

撮影 岡崎宏三

美術 小島基司

編集 庵原周一

音楽 真鍋理一郎

照明 下村一夫

助監督 辻村光慶

出演 フランキー堺 Frankie Sakai 与田五郎

淡島千景 津山ユミ子

乙羽信子 村上お千代

浪花千栄子 おミノ

清川虹子 島ヤスヨ

桂小金治 洋さん（谷洋吉）

山茶花究 熊田寛造

藤木悠 ハラ作（西原作一）

小沢昭一 江藤ミノル

加藤春哉	高山彦一郎
益田キートン	野々宮真一
沢村いき雄	御隠居
加藤武	小松
市原悦子	高山教子
西岡慶子	お澄
西川ヒノデ	岸山
渡辺篤	宝珍堂
長谷川みのる	刑事
津川アケミ	登勢
中林真智子	女店員
頭師満	宏
宮谷春夫	四方山
青山正夫	菩提寺
守住清	地廻り
楠栄二	記者